

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会の理解Ⅱ Understanding Society Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護の基本 障害の理解				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
吉田 志保	福祉棟3階	授業中にお知らせします		授業中に指示します
授業の概要				
障害者の支援を担う法制度と介護実践に関わる諸制度の概要や動向を理解する。				
授業の目標				
①人々の権利を擁護する諸制度について知識を取得できるようにする。 ②保健医療にかかる諸施策について知識を取得できるようにする。 ③医療に関わる法と諸施策について知識を取得できるようにする。 ④高齢者・障害者の住生活を支援する諸制度について知識を取得できるようにする。				
授業の方法				
講義、演習、模擬授業、ディスカッションなどを取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
①法制度が成立した変遷を簡単な年表でまとめることができ、積極的に課題に取り組むことができる。 ②障害者総合支援法について基本的事柄について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	社会の理解Ⅱについて学習内容を確認し、学ぶ意義を理解する。ガイダンス・概要説明。			
第2回目	障害者の支援を担う法制度について			
第3回目	障害者自立支援法制度創設の目的と動向について			
第4回目	障害者自立支援制度のしくみについて			
第5回目	障害者自立支援制度にかかわる組織とその役割について			
第6回目	サービスの利用とサービスの種類について			

第7回目	社会保障の基本的な考えについて	
第8回目	介護実践にかかわる諸制度について	
第9回目	人々の権利を擁護する諸制度について	
第10回目	保健医療にかかわる諸制度について	
第11回目	医療にかかわる法と諸制度について	
第12回目	生活を支える諸制度について	
第13回目	高齢者・障害者の住生活を支援する諸制度について	
第14回目	その他の生活を支える制度について	
第15回目	高齢者・障害者の住まいの種類について	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	教材を常に準備して臨んでいる。ディスカッションの場面では、積極的に意見を述べている。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート	10%	出題者の意図に合致したものとなっている。詳細はガイダンス等で説明する
調査報告書		
小テスト	10%	国家試験に準じた問題を解き、理解できたかどうかを確認する。詳細はガイダンス等で説明する
試験	50%	授業で学んだ内容を中心に理解できたかどうかを確認する。詳細はガイダンス等で説明する
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：新・介護福祉士養成講座 「社会と制度の理解」 中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。		